

編集後記

第4号をお送りします。本号では引揚げに関する体験談3編、本誌の特徴ともいえる会報記事目録1編、そして調査記1編を掲載しました。本会ではみなさまから提供された様々な資料を同時並行で整理しております。本号ではそのうち旧間島、現在の延辺朝鮮族自治州に関する記事が多いことが特徴です。よく知られているように、当該地域は朝鮮人移民が人口の大多数を占めた地域であり、「満洲国」期や引揚げ時の民族関係の実態について理解する上で、枢要の位置にある地域です。本誌に掲載した体験談も日本人側からなされたものではありませんが、これらを読解するには本地域の性格を十分に把握することは欠かせません。この点において、本号の各記事では朝鮮人のルーツをもつ中国からの留学生尹国花さんが活躍していることには大きな意義のあることといえます。

本会の活動について、支配者側の記憶の収集にどれほどの意味があるのかといった疑念が呈されたことがあります。本会は支配者側の記憶を単に集積するという意図は毛頭ありません。『二〇世紀満洲歴史事典』において「満洲の記憶（日本人）」を執筆した猪股祐介が明晰に指摘するように、様々な記憶の収集・分析に際しては、現地住民への加害と日本人内部の加害という二つの加害体験の存在を常に意識することが欠かせません。かような緊張感の中で様々な対話が進むことを切に願っています。（佐藤仁史）

『満洲の記憶』 第4号

発行日：2017年10月31日

編集：「満洲の記憶」研究会編集委員会

編集委員：

飯倉江里衣 尹国花

大野絢也 菅野智博

佐藤仁史 佐藤量

新谷千布美 施昱丞

瀬尾光平 森 巧

湯川真樹江 林志宏

発行：「満洲の記憶」研究会

〒186-8601 東京都国立市中2-1

一橋大学大学院社会学研究科

佐藤仁史研究室 気付

Tel・Fax：042-580-8885

◇本誌は年刊オンラインジャーナルで、毎年9月に刊行されます。本会学年暦は、毎年8月1日から次年7月31日です。

◇本誌は一橋大学機関リポジトリにおいて配付しています。

[http://hermes-ir.lib.hit-](http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/handle/10086/27095)

[u.ac.jp/rs/handle/10086/27095](http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/handle/10086/27095)

◇「満洲の記憶」研究会連絡先

・メール：manshu-kioku@live.jp

・<http://manshunokioku.blog.fc2.com/>

(研究会ブログ)

ISSN 2189-390X